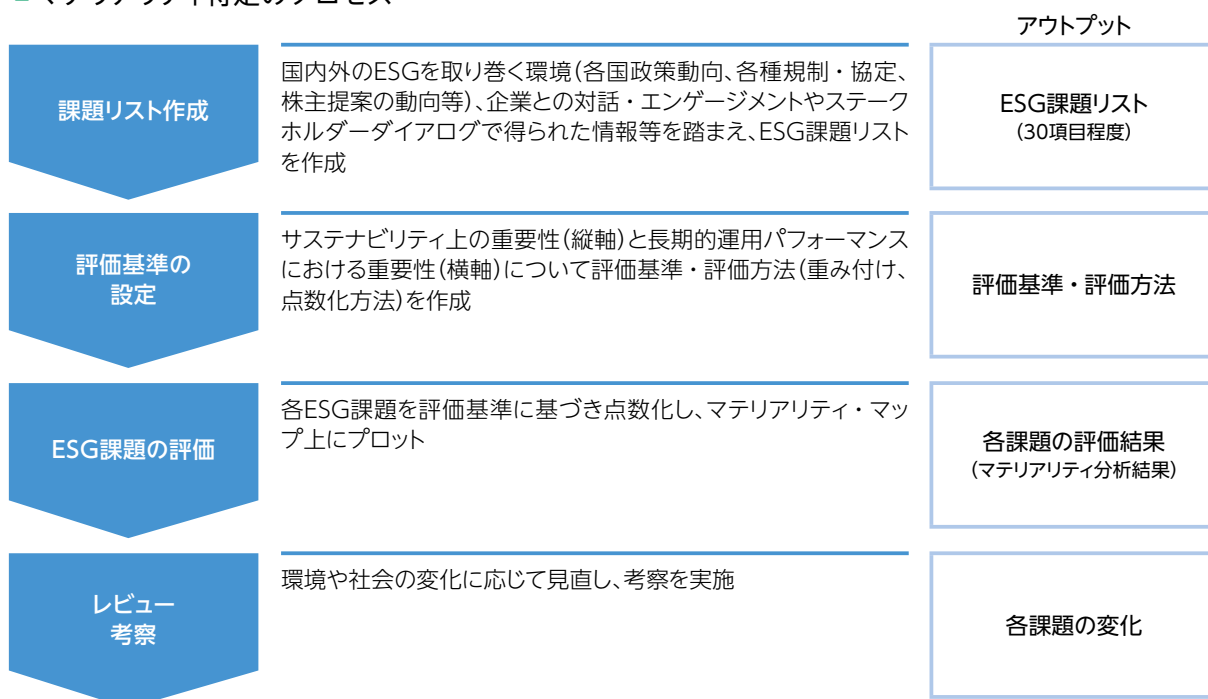


# マテリアリティ(重要課題)

## マテリアリティの特定

当社が考える「未来のあるべき姿」の実現に向け、以下のプロセスにしたがってESG課題のリストアップと評価を行ったうえで、特に重要と考えるESG課題をもって当社のマテリアリティ(重要課題)として特定しています。

### ■ マテリアリティ特定のプロセス



## マテリアリティ・マッピングのレビュー・考察

**2020年** ▶ ESG課題をマッピングし、マテリアリティを特定しました。  
▶ ESG課題に対する新型コロナウイルスの影響を調査しました。

**2021年** ▶ 「従来型発展モデル」、「地域分断モデル」、「持続可能モデル」の3つの将来シナリオのもとで、「あるべき将来」と「起こりそうな将来」を想定し、それぞれの将来シナリオにおいてESG課題がどのように変化するかを考察しました。

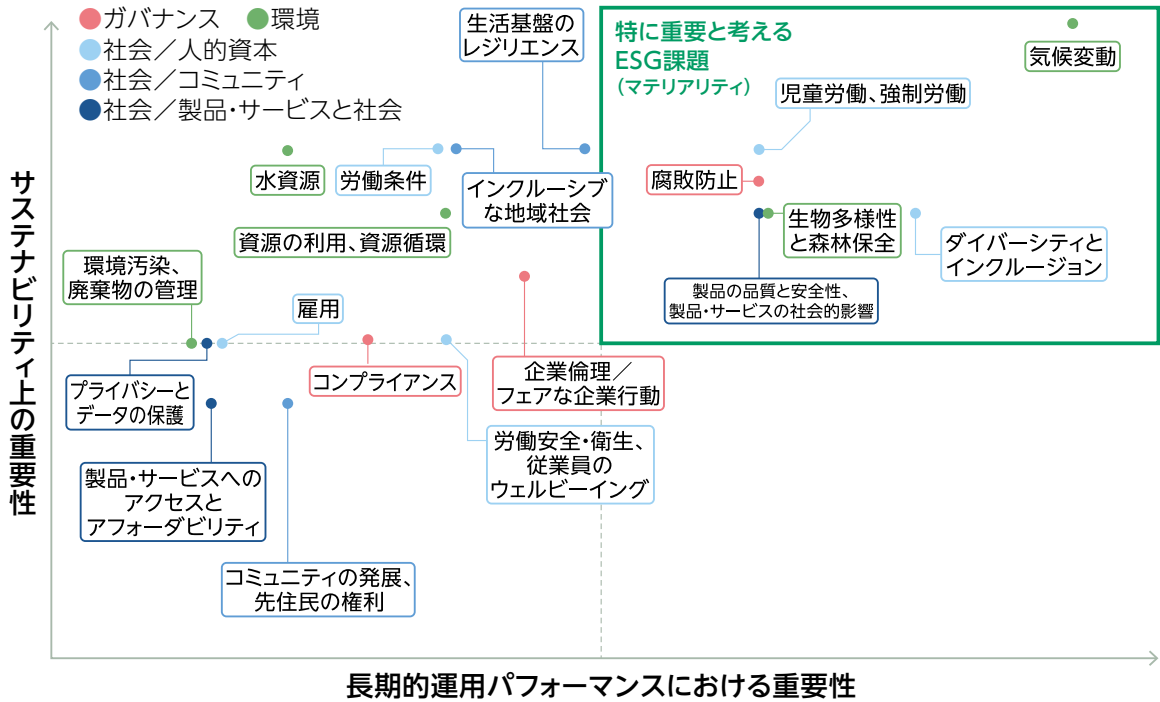
**2022年** ▶ 現下の情勢を踏まえ、紛争状態におけるESG課題の検討を行い、「地域分断モデル」を想定した場合のESG課題の変化について考察を行いました。

### ■ レビュー・考察の結果

上記の考察の結果、外部環境等によってESG課題の重要性が変化することが確認され、また新たなESG課題を考慮する必要があることなどが示唆されました。2023年度中には、これらの考察結果も踏まえ、マテリアリティの見直しなどの検討を行う予定です。

※ 詳細は、94ページをご参照ください。

## マテリアリティ・マッピング (2023年1月時点)



※BSRの知見を参考にリソナアセットマネジメント作成

## 特定されたマテリアリティの具体的内容

E	気候変動	企業活動(サプライチェーンを含む)に伴う温室効果ガス排出量の削減、省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの活用、気候変動適応の推進
	生物多様性と森林保全	生物多様性、天然資源、水資源等を含む自然資本の保全、その脅威となる資源の過剰採取や森林破壊の防止
S	児童労働、強制労働	企業活動(サプライチェーンを含む)に関する労働者の人権保護、強制労働・児童労働の防止、労働慣行の改善
	製品の品質と安全性、製品・サービスの社会的影響	製品の品質と安全性の確保、栄養不足・栄養過多への対応、食料の持続可能性確保
	ダイバーシティとインクルージョン	企業経営層・従業員のダイバーシティと機会均等の確保、差別やハラスメントの防止、働き方の多様性確保
G	腐敗防止	企業活動(サプライチェーンを含む)に関する贈収賄、詐欺、談合、マネー・ローンダリング等への関与の防止